

仕 様 書

1. 購入機器名： 歯科用X線画像診断装置

2. 購入目的： 中央放射線部で使用する歯科用パノラマX線装置の老朽化が激しく、メーカーの修理対応も終了するため更新する。

3. 設置場所： 岐阜県立多治見病院 中央放射線部

4. 要求性能：

1 歯科用X線画像診断装置は以下の要件を満たすこと。

仕様	
1	設置条件
1-1	複合撮影装置本体の外形寸法は、(W)1400mm×(D)1200mm×(H)2200mm、据付面積が 1.8 m ² 以内であること。
1-2	セファロ撮影機能を後付けした場合は歯科用X線画像診断装置（セファロ付）の外形寸法は、(W)2000mm×(D)1200mm×(H)2200mm、据付面積が 2.6 m ² 以内であること。
1-3	複合撮影装置の使用電力は100V、消費電力 2.0 kVA以内であること。
2	機能
2-1	高感度フラットパネルによる歯科用C T撮影およびパノラマ撮影が可能なこと。
2-2	撮影時のX線被曝を低減するため短時間（C T撮影時10秒以下、パノラマ撮影8秒以下）で撮影可能であること。
2-3	患者の位置づけの際、対面式でのポジショニングが可能であること
2-4	標準パノラマ（標準撮影、顎骨撮影、直交撮影）、小児パノラマ（標準撮影、顎骨撮影、直交撮影）、上顎洞パノラマ、顎関節4分割撮影が可能であること。
2-5	パノラマ撮影において患者の歯列形態に合わせた断層軌道が選択できること。
2-6	パノラマ撮影において全域に渡ってフォーカスの合った画像を取得できるAFP（全顎自動焦点補正）機能を有すること。
2-7	パノラマX線画像の画質を向上させる機能として、撮影部位に応じて線量を調整する機能及び適正なコントラストを得る機能を有すること。
2-8	パノラマ撮影において画像の拡大率を一定に保つ機能を有すること
2-9	保険算定可能な部分パノラマ撮影が可能なこと。
2-10	CT撮影は検査目的に応じて、最小Φ30×H30mm～最大Φ170×H145mmの複数のFOVを有していること。
2-11	CT撮影は180度と360度撮影モードの切替が可能であること。
2-12	CTのボクセルサイズは、0.08mm以下での撮影が可能であること。
2-13	CTはエンド撮影（根管撮影）に特化した撮影モードを有していること。
2-14	歯列に焦点を合わせた歯列型FOVを有していること。
2-15	CT撮影時の位置づけ方法としてマニュアルおよび2方向からのスカウト撮影機能を有すること。

	2-16	CT撮影時、撮影部位を簡単に決定できる様に、パノラマ撮影画像から撮影部位を特定する機能を有すること。
	2-17	CT撮影時、アーチファクトと歪みの少ない画像を得るための水平照射が可能であること。
	2-18	CT画像の空間周波数は、2.5LP/mm以上の高解像度であること。
	2-19	CT撮影はオフセットスキャンが可能であること。
3	画像診断機能	
	3-1	システムの操作は専用キーボード、フルキーボードおよびマウスを併用できること。
	3-2	画像診断アプリケーションは薬機法に対応していること。
	3-3	画像診断アプリケーションとして次の機能を有していること。
	3-4	ズーム機能を有すること。
	3-5	距離、確度の測定機能を有すること。
	3-6	エッジの強調機能を有すること。
	3-7	回転、反転機能を有すること。
	3-8	画像の濃度の調整機能を有すること。
	3-9	画像インポート、エクスポート機能を有すること。
	3-10	CT画像再構成機能を有すること。
	3-11	リアルタイムスライス機能を有すること。
	3-12	ボリュームレンダリング機能を有すること。
	3-13	スライス厚み、間隔可変機能を有すること。
	3-14	簡易ソフト付CTデータ書き出し機能を有すること。
	3-15	WEBブラウザ（Edge）経由で画像診断ワークステーション端末の画像観察が可能となるオプション機能を有していること。
4	情報通信	
	4-1	患者情報は放射線科情報システム(RIS)または同等システムからDICOMワークリスト（MWM）規格にてオンライン取得が可能であること。
	4-2	IHEの認定を受けていること。
	4-3	DICOM規格にて任意の画像を選択することができ、任意の順序で画像サーバ等の外部システムに出力できること。
5	表示機能	
	5-1	電磁妨害波規格がVCCIクラスB以上であること。
	5-2	画像処理装置の外形寸法は、(W)180mm×(D)304mm×(H)374mm以下であること。
	5-3	画像処理装置のOSはWindows11Professional（64bit）以上であること。
	5-4	CPUは、Intel Core i7-12700 プロセッサ相当以上の性能であること
	5-5	256GBフラッシュメモリディスク（SSD）およびHDD2TB（SATA）×2を有すること
	5-6	画像装置本体内にハードディスクを複数実装し、自動データバックアップ機能を有すること。
	5-7	ネットワークインターフェース（1000BASE-T以上）を備えていること。
	5-8	画面サイズは23型以上であること
	5-9	画素数は1,920×1,080以上であること。
	5-10	液晶パネルは、TFTカラー液晶であること。
	5-11	接続方法は、アナログ:Mini-Dsub15pin、デジタル:DVI-D / Displayportを有していること
	5-12	表示色は1,677万色相当以上であること。

5-13	画面サイズは24型以上であること。
5-14	画素数は2MP（1,920×1,200）以上であること。
5-16	ビデオ入力信号は、VGA、DisplayPort、HDMIのいずれかを有していること。
5-17	DICOMキャリブレーション済み輝度が180cd/m2相当であること。

5. 機器の構成：

「上記5.要求性能」を踏まえ、次の構成とする。

≪機器構成≫

品名		数量
歯科用X線画像診断装置		
	歯科用X線画像診断装置 X800+ 諸経費を含む	1
	キャプチャーPC-セット64Bit	2
	i-Dixel サーバソフト料	2
	Barco 液晶24	2
	ギガビットハブ	2
	MWM／Storage／RDSR 接続料	1
	XDS-2 電源切替ボックス	1
	壁固定金具400MM延長キット	1
	i-Dixel Web 3D	1

6. 搬入・据付・配線・調整等：

- ・搬入・据付、配線・調整等については、落札者の負担とすること。また当院と充分打ち合わせの上、診療への支障を最小限にするよう努めること。
- ・設置場所は当院が指定した場所であること。また、電気（分電盤）容量、建築基準、消防法等関係法規に抵触しないよう予め確認すること。
- ・設置場所を確保するために既設の装置等を移動する場合の費用は、落札者の負担とすること。
- ・機械装置及び周辺装置への配線等は、当院と十分協議したうえで実施すること。
- ・調達品が適正に動作するためにかかる全ての費用は、仕様書に具体的記載が無くても落札者の負担で整備すること。
- ・その他、仕様書に具体的記載のない事項について、疑義が生じた場合は病院担当者と協議し誠意をもって対応すること。
- ・設置完了後、取扱説明書、関係書類等を1式提供すること。
- ・廃棄に掛かる費用に関しては仕様に含まない。

7. サービス体制・保守体制：

- ・装置の稼動に当たり、落札者の負担において当院への十分な機器操作説明を行うこと。
- ・設置検収後3年間は、通常の使用により故障した場合の無償保証に応じること。対象は歯科用X線画像診断装置 X800+ 諸経費を含む、i-Dixel サーバソフト料、i-Dixel Web 3D。
- ・必要に応じて説明員の派遣または電話での対応など十分なアフターサービスに努めること。

8. 納期限：令和8年3月31日

9. その他

- ・納品された物品に当院から手渡す物品シールを貼り、納品書の提出時に物品に貼付けられた写真を添付すること。